

令和2年度第1回天童市教育委員会について（報告）

日 時	令和2年4月20日（月曜日）	午前10時30分から 午前10時53分まで
場 所	教育委員会 第一会議室	
出席委員	相澤一彦教育長、井上正信委員、村山晴香委員、 松村昌子委員、大内あゆ子委員	
欠席委員	なし	
出席者	武田文敏教育次長兼教育総務課長、佐藤亨学校教育課長、 矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長 事務局（教育総務課職員）	

議 事

- 議第 1号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 議第 2号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について
- 議第 3号 天童市社会教育推進員の委嘱について
- 議第 4号 天童市青少年育成推進員の委嘱について

<教育長あいさつ>

おはようございます。今年度最初の教育委員会会議となりました。

初めに、新型コロナウイルスの感染防止のため、学校が休校となっておりますが、今日、臨時登校日となり、24日に入学式が行われる予定です。また、5月11日から登校が始まる予定です。

今日は、年度初めに行っています学校訪問の中で、お話しさせていただいておりますことを説明させていただきます。

1つ目が「笑顔が印象に残る一人ひとりに」です。先生が笑顔でいると児童生徒も笑顔になり、意欲やゆとりが出てくるとのいう内容です。

2つ目が「子供の悪口を言わない一人ひとりに」です。悪口は創造的ではなく、その課題に対する解決の方策が大切になってくるという内容です。

3つ目が「学び続ける一人ひとりに」です。大村はまが述べている内容で、伸びようという気持ちを持たない人は、子どもとも無縁の人という内容です。

4つ目が「考え（理論）を行動に移す（実践）一人ひとりに」です。ブッダが述べている内容で、「ためになることをいくらたくさん語っていても、それを実践しなければ怠け者である。」という内容です。

5つ目が「世代や立場、職域を超えてつながる一人ひとりに」です。学校の管理職などは、若手教員の疑問や困り感を察知し導くことや、若手教員は困り感を伝えることなど、支え合う職場をみんなで創っていただきたいという内容です。

むすびに、南部小に今日の朝に行ったところ、子ども達に大変喜ばれました。子供たちは素直で生き生きとしていたところが、喜ばしく感じたところです。

また、このような状況のもと、多勢校長の ICT 機器を利用した実践報告がありましたので、後ほどご覧いただきたいと思います。

今年度もよろしくお願ひし、挨拶とさせていただきます。

< 議 事 >

議第 1 号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第 2 号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第 3 号 天童市社会教育推進員の委嘱について

< 可決する >

審議経過

教育長 : 各地域 3 名以内でも良いのですか。

生涯学習課長 : 市立公民館の推進という意味からすると、3 名が良いものと考えていますが、地域の実情に合わせて 3 名以内でお願いしています。

< 議 事 >

議第 4 号 天童市青少年育成推進員の委嘱について

< 可決する >

審議経過

教育長 : 空席の地域は、いつまで決めることになりますか。

生涯学習課長 : いつまでという期限はありませんが、役割もあるため、早急に対応をお願いしていきたいと考えています。

教育長 : その他に議事は無いようですので、第 1 回教育委員会会議を終了します。